



「25年後の磯野家」設定シート。カツオ、ワカメ、タラちゃん、イクラちゃんを表すキーワード、エピソードがずらりと並び。



アイデア概略

電通  
コミュニケーション・デザイン・センター  
CMプランナー/コピーライター  
東畑幸多氏

とうはた-こうた  
1975年生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒。99年電通入社。主な仕事はリクルートリクナビ・山田悠子の就職活動、江崎グリコ(OTONA GLICO)など。TOC賞、TCC新人賞、アドフェスト金賞、ACC全ベストプランナー賞など受賞多数。



イクラちゃん 26歳



「昔からイクラちゃんには負けたくないと思ってたんだよね」「俺も思ってたよ」という本気の掛け合いが印象的。クソッと笑える一方で、大人になった現実を浮かび上がらせる「仕事&舞台」篇。

③ 撮影現場で何度もセリフを書き直す

佐々木宏CD、八木敏幸監督のもと、企画とコピーを担当した東畑氏。「佐々木さんは群像劇のCMをつくる難しさを知っている人ですし、八木監督もクリエイティブに対するこだわりがものすごく強い。CMの撮影前日の明け方までセリフを修正しても、現場で再度ダメ出し(小栗(旬)さんと環太さんの目の前で、ギリギリまでセリフを書き直しましたね)。

② イクラちゃん「CEO」になった理由

「25年後の磯野家」では、イクラちゃんがベンチャー企業のCEOに、タラちゃんがたご焼き屋になっている。この意外な設定が視聴者の興味をかきたてた。「原作では3歳と1歳のタラちゃん、イクラちゃん。彼らは既にお小学生だったカツオ、ワカメに比べて、自由な設定を作りやすかったんです。あえて予想外の職業に設定することで、25年という長い歳月を視聴者に感じてもらうのが狙いだった。

① 日本中が知っている人が、大人になったら?

「オトナグリコ」の広告では、グリコのお菓子に親しんでいた子どもたちが大人になり、新しいグリコに出会うストーリーを表現しようと考えた。「日本中が知っているサザエさんのキャラクターが、大人になったら面白い。しかも、誰も見たことのない世界を実写で描く方がインパクトがある。そう考えたとき、ふと出てきたフレーズが、「オトナタラちゃん」「オトナイクラちゃん」でした。

からぬまま電話をかける」と「FAXで企画書を送ってほしい」との返事が。FAXで手紙を送ると、「句なタレントで、サザエさんファミリーの未来を描くという方針が面白い」と、あっさり許可を得ることができた。

撮影開始まで、ストーリーやセリフの手直しが続いたという。「キャストインクから制作までの数カ月間、まったく余裕がない状況だった」と東畑氏は振り返る。9月のオンエア後はパブリシティや口コいで、日本中の話題をさらう結果に。日本人の多くは自分の身内のことのように、サザエさん一家の成長を感慨深く見守ってきたのだ。東畑氏は予想以上の反響の大きさに喜ぶ反面、「一大それたことをしてしまったな」と、ちよっと怖くなりました(笑)。でもテレビを取り巻く環境が変わるなか、企業のメッセージはなるべく企業、チャイミングにしなければCMは機能しない時代に来ている。そう実感しましたね。

「25年後の磯野家」をプランニング

クリエイター  
07

2008年後半、国民的アニメ「サザエさん」のキャラクターの25年後を描くという大胆な試みで、世間の話題をさらった江崎グリコのテレビCM「オトナグリコ」シリーズ。このCMを手掛けたのが、電通の東畑氏だ。



磯野家の構造を徹底的に研究し、セットは制作された。



カツオ 36歳

ワカメ 34歳

タラちゃん 28歳

イクラちゃん 26歳

カツオ(浅野忠信)、ワカメ(宮沢りえ)、タラちゃん(瑛太)、イクラちゃん(小栗旬)が久々に顔を見せる「再会」篇。

ドキュメント

2008年2月  
新「オトナグリコ」のオリエン  
「オトナグリコ」は大人向けの製品カテゴリー。08年はさらに商品の認知を上げるために、インパクトが必要だった。

2008年3月  
「25年後の磯野家」のアイデアを発案  
大人に「お菓子を買うときの、ワクワクする子ども心思い出してほしい」との思いから、皆が知っている「サザエさん」の25年後を描くアイデアを思いつく。

2008年4月  
長谷川町子美術館に手紙を書く  
手書きの手紙をFAXで送付すると、予想外にあっさり承諾が得られた。

2008年6月  
磯野家のストーリー 50案を提出  
CDの佐々木宏氏から「企画もキャストもいい。でも、15秒のCMにしたときに本当に面白いのかな？」と投げかけられ、最終的に約50のストーリー案を提出した。

2008年8月  
4人のキャスト決定、撮影へ  
6月から美術スタッフとともに、磯野家の構造を徹底的に研究。既にセットや小道具もそろっており、キャスト決定と同時に、撮影へ突入。撮影現場でもセリフの書き直しが続く。

2008年9月  
第1弾「再会」篇が放映スタート  
情報番組で大きく取り上げられたほか、検索サイトでも「磯野家」がランキング1位に。

2008年11月  
第2弾「テスト」篇、「仕事&舞台」篇  
「テスト」篇では、カツオが大人の一面を披露。「仕事&舞台」篇では、タラちゃんとイクラちゃんの正反対な職業が明らかに。

日 本中の誰もが知っている国民的アニメ、「サザエさん」のキャラクター。彼らが大人になった姿を、誰が想像したのだろうか? 「チャランボン」だけと憎めない、自由人のカツオ2人の影響でダメ男好きな、キャリアウーマンのワカメ。お金にならないけど、地道に好きなことをコツコツとやっているタラちゃん。仕事で成功するが、あの子の方の方が幸せだったかもしれない、と思っているイクラちゃん……。

江崎グリコが2007年から展開している「オトナグリコ」は、上質な味を好む大人に向けたシリーズ。同社の「アーモンドブレミオ」「同社ホーテン」「イカカオ」の2商品を大人の消費者向けにアピールし、商品の認知向上を図るための枠組みだ。07年に続き2年目となる今回は「さらなる商品の認知向上を目指し、インパクトのある広告を展開したい」という課題があった。そこで東畑氏が出した企画が、国民的アニメ「サザエさん」のキャラクターの25年後を実写で描くというものだった。実現に向け、まずは長谷川町子美術館に相談を持ちかけた。ハードルの高さが分